

令和7年度「利用者窓口アンケート」の実施結果

中小企業技術センターでは、利用者の皆さまを対象に、利用目的や満足度、ご意見、ご要望などについて伺う「利用者窓口アンケート」を実施いたしました。集計結果の概要をお知らせします。

ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。今後の事業展開や業務改善に役立てていきます。

1 調査対象

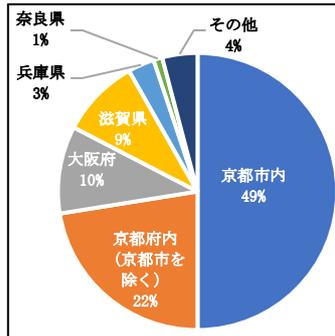
令和7年11月17日から令和8年1月23日の間に「技術相談・依頼試験・機器貸付」のいずれかを利用されたことのある方。

2 回答数 139件

3 調査結果(概要)

回答者の所属事業所を所在地別に見ると、京都市内49%、京都府内(京都市除く)は22%、京都府外29%に分かれました。(関西圏では大阪府10%、滋賀県9%、兵庫県3%、奈良県1%) (図1)。

図1 所属事業所の所在地

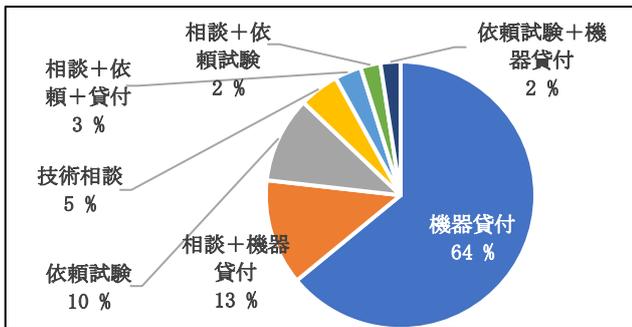


事業所の業種は、製造業が81%と最も多く、卸売業・小売業及びサービス業が4%でした。製造業の内訳は化学・プラスチックがもっとも多く、電気機械・電子部品、鉄鋼・金属製品と続きました。

今回利用の支援内容と満足度

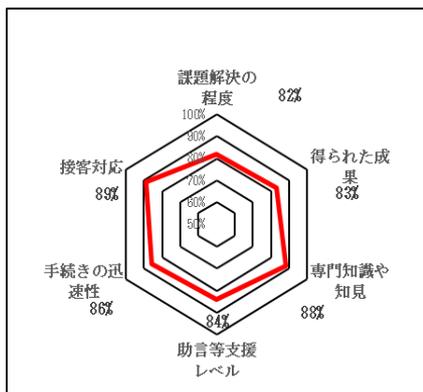
機器貸付の利用が64%、相談+機器貸付13%、依頼試験10%と続きました(図2)。

図2 ご利用いただいた支援



支援の満足度については、接客対応89%、専門知識や知見88%、手続きの迅速性86%、支援レベル84%、得られた成果83%、課題解決82%といずれも高い評価をいただきました。(図3)

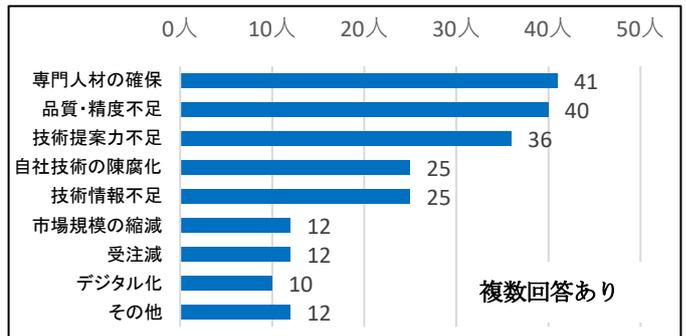
図3 ご利用の満足度



自社の課題

自社の課題として専門人材の確保41人と最も多く、品質・精度不足40人、技術提案力不足36人と続きました(図4)。

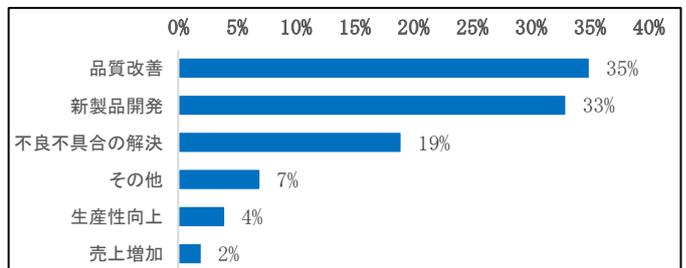
図4 自社の課題



支援成果

品質改善が35%と最も多く、新製品開発33%、不良不具合の解決が19%と続きました。(図5)

図5 支援成果



強化・充実を求められること

機器利用が71人と最も多く、技術相談39人、依頼試験27人と続きました。自由記述では、機器の新規導入・更新、セミナー・講習の充実等について多くのご意見をいただきました。(図6)

図6 強化・充実を求めること

